

# 救急指導

平成30年6月6日（水）、粉河ふるさとセンターにて地域の高齢者を対象とした救急指導を行いました。

講習の目的は、地域で自主的に運動する中で万が一のときに迅速かつ冷静に対応するため、前半は大塚製薬の方が脱水や熱中症予防について講義し、後半に東消防署職員による救急講習を行いました。

救急講習の冒頭で、東消防署副署長から救命の連鎖について、「バイスタンダーが心肺蘇生を実施し、救急隊に引き継ぎ搬送し、病院で処置を行い社会復帰するためには、一般市民の方々が重要です。」という講義から心肺蘇生法の手技へ移りました。

今回の講習では、積極的に参加して頂き、胸骨圧迫また人工呼吸が上手に行われていることに驚きました。

最後に救命の連鎖で最も大切なことは、「心停止の予防」です。大塚製薬の方が講義されたことは、正しくそのことであり、突然死の多くは日常生活の中で十分に注意することで予防できます。今後もこのような機会を大切に、市民が安心・安全に暮らせる街づくりに貢献していきます。

